

# 「フットサルにおける競技運営進行・施設利用上の注意点」

2020.10.23  
千歳地区サッカー協会  
4種委員会

## 1. 主催者(主管者)の対応

### 【事前の対応】

#### ①大会・事業毎の感染対策担当者の設置

大会・事業毎に感染対策担当者及び副担当者を設置し、連絡体制(連絡網等)を整備しておくこと。

※大会における感染対策担当者は、基本的に4種委員長とする。

#### ②参加者への対応・注意事項の周知徹底

参加者に対し、事前対応、当日の会場での対応及び事後の対応について、資料を送付し、周知・徹底を図ること。

#### ③同一会場における1日の試合日程について

- ・参加者の数が、施設(会場)側で制限している人数を超えないこと。
- ・同時に会場入りできるチーム数は1コートにつき4チームを上限とし、チームの入替時には換気や消毒等の対応がとれるよう時間を確保すること。

#### ④会場(施設管理者)との確認・調整

- ・利用する会場(施設管理者)へ主催者側が講じた感染対策資料を提供し、利用上の対策・注意事項等について、確認・調整する。
- ・施設側が設定した感染対策についても参加者に周知し、対応の徹底を図る。

#### ⑤大会等の中止・延期の判断

半数以上のチームが参加辞退を申し出た場合、主催者側で延期又は会場確保・日程等の調整について協議し、困難な場合は中止とする。

### 【当日の対応】

#### ①会場設営及び会場撤収

- ・作業前後の手洗い、手指消毒の徹底を図る。
- ・消毒作業中は使い捨てのゴム手袋を着用する。
- ・ラインテープ、マークの再利用はしない。

#### ②時間差によるチーム集合等

競技室及び控場所が密にならないよう、チームの時間差集合を徹底する。

- ・各チーム集合時刻を設定し、時間前には入館しない。
- ・チーム毎指定された場所以外には移動しない。
- ・試合の為、ピッチに行く際にはすべての荷物をピッチに持参すること。
- ・試合終了後、ロビー等ではミーティング行わず、速やかに退館する。

#### ③MCMの対応・ユニフォームの事前決定

- ・毎節の同じ確認事項は省略し、感染症対策はペーパーで確認する。
- ・ユニフォームの決定は、対戦カードが決定している場合、試合前に当該チーム間で調整すること。

## 2. 参加者の対応

※参加者の範囲(北海道フットサル連盟「フットサル用感染対策マニュアル」による)

チーム(選手・役員スタッフ、引率者)、運営役員・スタッフ、審判員

※2020年度の各種大会は、無観客を基本とする。

※4種の大会では、各チーム最低限の引率者(当日参加選手数の1/2を上限とする。)を認めるが、「観客」ではなく、チームスタッフと同様の対応をとることとし、主にチームの感染対策にあたることとする。

### ①参加チームにおける感染対策担当者及び連絡責任者の設置

大会における参加チームは、感染対策担当者及び連絡責任者を設置し、主催者(主管者)へ事前に指定様式(大会参加申込書に記載)により事前に報告すること。

・チームの感染対策担当者がベンチ入りできない場合は、代理者を指定し対応させる。

### ②健康チェックシートの提出

全ての参加者は、2週間前から検温・体調の確認を行い、指定された「健康チェックシート」を当該大会・事業の主催者(主管者)へ提出すること。

### ③参加の見合わせ

参加者は、以下の事項に該当する場合は、自主的に参加及び会場入場を見合わせる。

- ・体調が良くない場合(過去14日以内に発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
- ・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

### ④時間差によるチーム集合等

- ・競技室及び控場所が密にならないよう、チームの時間差集合を徹底し、各チームに指定された集合時間前には入館しない。
- ・試合の為、ピッチに行く際にはすべての荷物をピッチに持参すること。
- ・試合終了後、ロビー等でミーティングを行わず、速やかに退館する。

### ⑤参加者のマスク着用

会場において、競技中における選手及び主審・第2審判を除き、全ての参加者は、マスクを着用すること。なお、競技中ベンチにいる選手は、マスクを着用するよう努めること。

### ⑥手洗い・咳エチケットの徹底

参加者は、試合や活動の前後など、小まめな手洗い(30秒目安)を行うと共に、咳エチケットには十分配慮すること。

### ⑦主催者(主管者)及び施設管理者が示す対策・注意事項の遵守

参加者は、主催者(主管者)及び施設管理者が示す対策・注意事項を遵守することを条件として参加できることを認識すること。

### ⑧割当の業務(審判、記録)

- ・記録員・タイムキーパー等は、1m以上の間隔を空けて対応する。
- ・チーム内における審判服や審判用ビブスは、同一日での共用はしない。

### ⑨新型コロナウイルス感染者が発生した場合の報告

参加者が、活動終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染した場合は、速やかに主催者(主管者)及び感染対策担当者へ報告すること。

### 3. 会場における当日の対応

#### 【事前の対応】

##### ①施設管理者への再確認

施設利用に当たっての対策や注意事項等について、施設管理者へ再確認すること。

- ・施設側の消毒液設置の確認
- ・無観客での実施
- ・施設の換気
- ・使用した椅子・テーブル等の消毒など

##### ②参加者への検温

会場へ入場の際は、非接触型の体温計により参加者全員に検温すること。なお、検温の際は必ずマスクを着用すること。(体温測定については、チーム内の感染対策担当者等が実施し、体温計については大会本部が貸出する。)

##### ③健康チェックシートの回収

全ての参加者より、記載した健康チェックシートを回収する。提出しない方又は忘れた方は、基本的に参加させないこと。

##### ④当日、発熱等の体調不良者が出た場合の対応

- ・体調不良者については、速やかに退館させる。
- ・大会当日におけるその後の試合継続の可否については、体調不良者の状況やチームの状況等を踏まえ、大会関係者で検討し判断する。

#### 【当日の会場設営・競技会運営の対応】

##### ①アリーナ内

アリーナ内において、以下のとおり対応すること。

- ・全てのドア、窓は常時開放し換気を実施する。気温の低い日は最低1時間に10分程度は換気する。
- ・デジタイマー、オフィシャル席、記録席、テーブル、試合球、ストップウォッチ、タイオムアウト要求カード等は、試合ごとに消毒する。消毒作業後は、手洗いを徹底する。
- ・アリーナには当該試合以外のチームは入場しない。
- ・試合前後の両チーム選手、審判団との握手は行わない。
- ・ベンチ前の写真撮影、円陣はしない。
- ・大声や歓声、得点時のハイタッチ・抱擁は自粛する。
- ・ピッチ内でも咳エチケットを守る。
- ・飲水ボトル、タオルを共有しない。
- ・水・氷を溜めたクーラーボックスを共有しない。
- ・ベンチではマスクを着用する。
- ・試合後の本部席、両チームベンチへの挨拶は行わない。
- ・試合終了後、当該チームは速やかに退室する。
- ・試合終了後は、手洗いや手指消毒を徹底する。

##### ②ウォーミングアップ会場

- ・次の試合のチームのみ、指定箇所及び時間限定による使用とする。
- ・自チーム以外のチームとの接触は避ける。

- ・ウォーミングアップ中も出来る限りマスクを着用する。
- ・大声や歓声は自粛する。
- ・ウォーミングアップ終了後は、手洗いを徹底する。

### ③ベンチ

- ・ベンチは、椅子2脚分(最低でも1脚)間隔を空けて、前後2列に椅子を交互に設置する。前後2列に設置できない場合は、ベンチ入り人数を調整するなどの対策を講じる。
- ・試合終了毎にベンチの消毒を行う。
- ・**前後半のベンチ交替を行わない。**

### ④選手控室

選手控室又は控え場所(スタンド)について、以下のとおり対応すること。

- ・広さにはゆとりを持たせ、選手同士が密になることを避ける。
- ・ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する。
- ・選手控室は自チームが退去する際に消毒する。
- ・換気扇を常に回し、2つ以上のドア、窓を開けっ放しにして常時換気を行う。

### ⑤トイレ、手洗い場所

トイレ及び手洗い場所についても感染リスクが比較的高いと考えられることから、事前に施設管理者と調整を図ること。

- ・手洗い場にはポンプ式液体または泡石鹸を用意する。
- ・「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。
- ・手洗い後に手を拭くためのペーパータオル(使い捨て)を用意する。
- ・アルコール消毒液を設置する。

### ⑥来場者対応(観客等) ※2020年度は基本的に無観客

#### ⑦メディア対応

メディアに対して競技会・試合の取材希望がある場合は、事前に申込させること。取材者に対しても参加者と同様の感染防止対策をするように事前に伝える。

(マスクを常時着用する。健康チェックシートを作成し入場時に提出する。等)

#### ⑧ゴミの廃棄方法

- ・ゴミを収集する際は、マスクや手袋を必ず着用する。
- ・ゴミはビニール袋に入れて密閉して縛り、廃棄する。
- ・マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒する。
- ・チームのゴミは、チームでビニール袋に入れてチームで持ち帰る。

## 【事後の対応】

### ①健康チェックシートの保存

万が一感染が発生した場合に備え、競技会当日に参加選手・スタッフ、メディア、運営関係者から提出された健康チェックシートは、個人情報取り扱いに十分注意しながら、保存期間(少なくとも1ヶ月間)を明記した上で保存しておく

### ②感染者発生時の対応

万が一運営スタッフや参加チームの中から競技会終了後14日以内に新型コロナウイルス感染症の感染が判明した場合は、保健所の指示に従うとともに、千歳地区サッカー協会にその旨報告のこと。

### ③リーグ日程途中での感染者発生

リーグ戦の途中で感染者が発生した場合、リーグは一時中断(最低2週間)し(又は当該チームを2週間出場停止とし)、リーグ全体の順位は付けないものとする。  
なお、それ以降のリーグの継続については、状況により判断する。

## 4. 全道大会等の千歳地区予選・カップ戦等に係わる特別な対応

- ①選手証は写しを事前に提出することとし、試合前の提出は要しない。
- ②チーム役員及び選手は、当日エントリーされた者のみ入館できる。
- ③試合の結果、敗者チームは、他の試合を観戦せずに速やかに退館する。
- ④トーナメント戦の勝者チーム等で同一日に次の試合がある場合は、一度退館するなどチームの会場での滞在時間をできるだけ短くする。
- ⑤一般使用者等と接する機会を極力なくすため、観覧席やトレーニングデッキ等専用利用できる場所を選定するなどの処置を講じて大会を開催する。
- ⑥開会式は、開催しない。
- ⑦エントリー用紙は、事前の参加申込書をエントリー用紙として活用する。
- ⑧各チームへの事前連絡等が発生した場合は、メール・ライン等により事前連絡を実施し、当日会場での処置を軽減する。
- ⑨表彰式は最終日終了後、会場で実施する。その際、密集とならないよう距離を取らせ、チームの写真撮影実施者はチーム代表者1名に限定する。

## 5. 恵庭市内体育施設の利用に係わる対応

恵庭市内の体育施設(総合体育館、駒場体育館、福住屋内運動広場)を使用する大会・リーグ戦の参加に当たっては、以下の点を遵守すること。

### ①参加者名簿の提出

試合当日に参加する選手・スタッフ・引率者の氏名を所定の様式により、前日までに大会感染対策担当者にメール送付すること。名簿に記載のない者は入館できない。

### ②「新型コロナウイルス感染予防チェックシート」の遵守

NPO法人恵庭市体育協会が発出している「新型コロナウイルス感染予防チェックシート」の内容を遵守すること。

### ③「新型コロナウイルス対策記入用紙」の提出 (2020年度分については提出済)

各種大会での施設利用申請の際には、所定の様式に「新型コロナウイルス対策」を記入し、申請書とともに申請しなければならない。

## 6. 千歳市スポーツセンター(ダイナックスアリーナ)の利用に係わる対応

スポーツセンターを使用する大会・リーグ戦の参加に当たっては、以下の点を遵守すること。

### ① 利用同意書の提出

千歳市が作成した「利用同意書」を、入館後速やかに作成し、大会本部に提出すること。なお、利用同意書については、大会日ごと(2日間開催であれば両日)に提出する。

### ② 「新型コロナウイルス感染防止対策のお願い」の遵守

(公財)千歳体育協会が専用利用者へ配布する「新型コロナウイルス感染防止対策のお願い」を遵守すること。なお、参加者名簿については、健康チェックシートを代用する。